

報 告 書

開催日時	平成28年8月5日(金) 19:00~20:45	
開催場所	大山公民館	
出席議員	(1班)大谷、嶋崎、古田、坂本(盛)、安達	
	班 長	大谷
	司 会 者	安達
	記 録 者	大谷
参加人数	25名	
主な要望 ・ 提 言 等	<p>○A氏 以前は保健師が振興局にいて、民生委員をしていたときも保健師と一緒に相談していたが、いつの間にかウェルピアに集約されてしまった。地区ごとについて対応する方が良い。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>市はウェルピアに集約しても、15人の研修をしており、従来のサービスと変わらない、速やかな対応ができるというのが市の答弁。委員会でも元に戻してはという意見を述べた。もう少し様子を見て問題点が明らかになれば見直しを求めたい。</p></div>	
	<p>○B氏 議会の災害対応マニュアルとあるが、大山は災害発生し道路が寸断された。市や土木事務所の説明も遅いし、対応が遅い。何ヶ月も道路が寸断されて、う回路もなく、生活道路を使っている。生活に大変な思いをしている。う回路については、長期の計画を立ててもらいたい。市や議会はどう考えているか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>これまでは災害の時など、議員はバラバラに活動していた。これではまずいということで災害対応指針を作った。 道路については、7月8日に東京の国土交通省の技官が来て現地を見た。そのとき中津、日田、玖珠、阿蘇市の市町村長、議長が集まって要望した。国道212号は県からの予算がかなり必要である。まず県にダブルネットワークの整備を国にするよう要望する。また、212号の整備についても、沿線の中津から阿蘇市までの市町村長、議長が集まり、期成会を早めにかけて国に要望する。</p></div>	

○C氏

1、大山には学童保育がない。2年前に学童保育を立ち上げようとしたが、大山町の場合、制度とニーズが合わない。資金面がうまくいかず断念した。しかし、大山で子育てしている方は通勤時間が長い。学童とは違う制度でできないか。例えば、児童館はあるが利用者が少ない。学校のすぐ傍にあるので6時ごろまで見れる。しかし、さまざま条件があつてうまくいかない。素人が考えると簡単なことなのに少子高齢化、過疎化という中で、大山町では「特化」してもらわないと子供は増えない。子育てしにくいので、便利な中心部に行くこととなる。

学童保育がないところが小野地区と大山地区。保護者のニーズがあれば設置が可能。人数が少ないと指導員の給与のことがあるので運営面で困難。要望は検討させていただきたい。

2、中津尾というところは、地震で崩落して不便な思いをしているが、前津江の曾家とつながっていて、上野川はきれいであるので、夏には小野川のような川遊びができる環境を作ってもらいたい。災害復旧をするときに子供が遊べる場所、集客や都会から移住のために何かできないか。

要望として受けて止めていきたい。

3、都会の人は移住により農業をしたいと思っている。移住イコール農業。農地が狭いと農業ができない。自分たちが食べていける、出荷ができる程度の野菜を作ることができるようにできないか。過疎化しているところでは特化という考えを作ってもらいたい。

「決まりはあるが、何とかならないか」という意見として預かりたい。

○D氏

農業関係の問題で、今後1人暮らしが多くなる。土地の広いところの一部を切り開いて集落を作り、土地をつけて田舎暮らしができるようにできないか。1本道しかない状況では交通が不便。年をとったら、都会に出たほうが面倒くさくない。

林業にしても道が大事。若い後継者も山に行くが軽トラックを持っていないので、山の奥までいかない。乗用車で行ける道の確保が必要である。

出された意見として受け止めたい。

○E氏

市長はすでに1期やっているが、市長の姿が見えてこない。議員の評価はどうか。大山が見捨てられているように感じる。大山夢工房の問題もなんだか、切捨ててしまったように感じる。本当に立て直そうとしていた市民もいた。夢工房の中で仕事をしているが何の話もない。果たしてそれで地域が再生していくものか。JRは大きなお金を持っており強い。しかし地域の再生になるのか、他力本願である。「1年でもいいから私たちにやらせてくれないか」といったが、まったく聞いてもらえなかった。地域の力を抛り所にしないと地域は再生しない。市長について一人一人の議員の評価を聞きたい。

議員個人としての政策的な評価はいろいろあると思うが、議会報告会のルールとして議員の個人の意見は話さないようにしているので、ご容赦いただきたい。

○F氏

「アオーゼ」という立派な施設はできたが、ホールがなくなったので、大山ホールの施設の利用も増えてきた。しかし「何で大山まで行かねばならないのか」という利用者の意見がある。

大山は位置的に日田市の中心になる。大山にも立派な施設があるので市全体で使うことを考えてもらいたい。大山中学校に立派なグラウンドもあるので利用を。

○G氏

市の職員の中でも、市のイベントでも開くときに「大山まで行けれん」と言う声もある。職員自身の意識改革も必要であると思う。

合併の前後では、配慮しながら会議をやっていた。最近は資料を運ぶのが面倒であるなどの声もある。意見交換会で出された貴重な意見としてまとめたい。

○H氏

光ファイバーが大山にはあるが、使いきっていない。これを利用して今の先端技術を持ってきて、子供たちの7月、8月での事業を考えていただきたい。

要望としてお預かりしていきたい

○I氏

1. 大山川の本流は汚い。川の中に足を踏み入れると苔が湧き上がってくる。河川の水質検査をやっているが、採石場、家庭などからの排水が原因という気がしている。水郷日田のイメージとして大山川が汚いのはさみしい。水量は数年前に勝ち取ったが、水質について目に見えるような行動と対策を議会ができないだろうか。

住民団体としても「上流の清流をそのまま松原の下に持ってこれないか」ということを提案もしている。

また、上流での合併浄化槽の促進をしていくようにしている。市民を巻き込んでの清流復活、水質改善を今度の大会でも掲げて取り組んでいきたい。

6月の市議会に「水郷日田の清流復活に対する請願書」が提出された。議会は全会一致で採択した。内容は①水郷日田の名にふさわしい清流の復活、②三隈川水質を確保、③高瀬川の清流バイパスの設置、以上3点を早急実現することを求めるものである。全会一致したものであり、それなりの位置づけで取り組む。11月にパトリアで大会を開催するので参加していただきたい。

2. 浄化槽設置の補助事業はどうなっているか。

新築の場合の補助額

5人槽で33万2千円、7人槽42万4千円、10人槽54万8千円。

改築の場合の補助額

5人槽53万1千円、7人槽61万4千円、10人槽で74万8千円

上流部で補助金を使ってもらいたい。